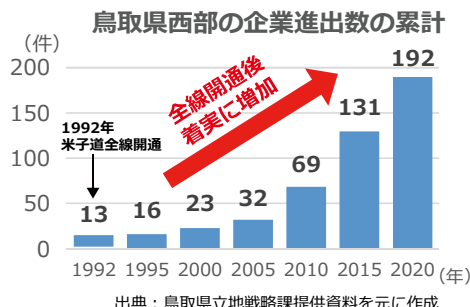


企業物流を支える米子道

- 米子道の全線開通後、沿線では工業団地の整備とともに企業進出も増加しています。
- 米子道は、沿線に立地する企業の原材料の搬入や製品出荷などの**流通を支援**しています。

米子道沿線の企業立地状況



【米子市 経済戦略課】
米子道により、企業進出は確実に増加しました。近隣の工業団地内にとどまらず、市内に点在する産業用地への企業進出が進むとともに雇用者数も大幅に増加しました。



全線開通後、多くの工業団地が沿線に立地



※経済産業省「ビジネス土地ナビ」及び（一財）日本立地センター「産業用地ガイド2021年度版」をもとにNEXCO西日本調べ



【チルド物流企业】

生鮮食料品・冷凍食品・青果の配送を行っています。配送先への荷物の到着時間の設定は、高速道路を利用したものになっていると感じており、米子自動車道の利用では、「**定期的に商品をお届けできる**」ほか、輸送時の事故率の減、乗務員の拘束時間の減などたくさんのメリットが挙げられます。



米子道沿線企業の米子道利用事例

【製紙会社】

米子自動車道の利用は、荷崩れの心配がなく、拘束時間も短縮され、ドライバーの負担が軽減されています。また、2024年問題（ドライバーの時間外労働の上限規制）においても、米子自動車道は**必要不可欠な道路**であると考えています。



製紙会社
約10～30台/日 ※

チルド物流企业
約10台/日 ※

飲料製造会社 A
約60台/日 ※

飲料製造会社 B
約150台/日 ※

【飲料製造会社A】

米子自動車道のおかげで、必要資材の納品は遅れがなく、製品の生産にも支障をきたしていません。生産設備にトラブルがあった場合には、メーカー対応を依頼するのですが、九州・四国から工場までの移動は米子自動車道を利用しており、設備の早期復旧につながるなど、**生産活動に欠かせないもの**となっています。



【飲料製造会社B】

高速道路を利用することで、**定時性が確保**されています。輸送距離や燃費を考慮しても、高速道路を利用した場合の方が**コストが抑えられている**と感じています。荷崩れもなく運べ、ドライバーの拘束時間も少なくなるなど、ドライバーのストレスも軽減されています。



※車両台数は「大型トラック」での輸送台数（ヒアリングによる）